

火山噴出物のシラスを用いた緑化基盤の開発

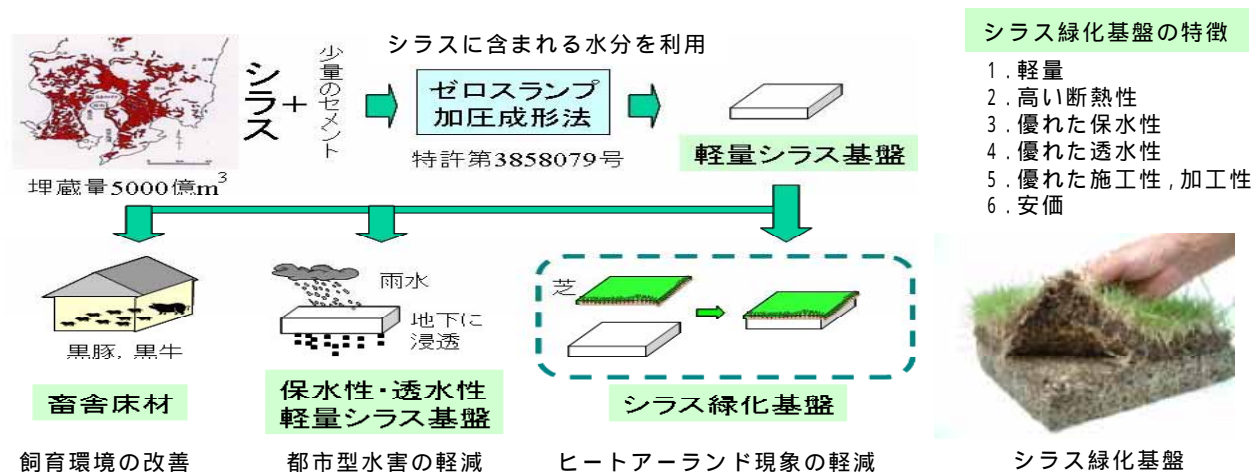
素材開発部 ○ 袖山 研一，瀬知 啓久，吉村 幸雄^{*1}，瀧石 和人^{*2}
(現 ^{*1} 企画情報部，^{*2} (社) 発明協会)
(株) ストーンワークス 上中 誠

1. はじめに

南九州に広く分布する火山噴出物のシラスは、鹿児島県本土の面積の約50%を占め、鹿児島湾周辺で厚さ数10m～200mのシラス台地を形成している。この膨大な量の火山噴出物が、工業資源として有効に利用できれば、地域の発展に大いに貢献することが期待される。

そこで、工業技術センターでは、地元の(株)ストーンワークスと平成13年からシラスの共同研究に取り組み、保水性と透水性等に優れたシラス緑化基盤の開発に成功した(特許第3858079号)。

2. 研究の概要



3. おわりに

シラス緑化基盤は、平成14年に実用化されて以来、鹿児島市電の軌道敷緑化、官公庁の屋上緑化や民間、個人での多くの施工実績が評価され、中小企業庁長官賞(H15)、地域貢献部門賞(Japan Venture Award 2006)、九州ニュービジネス優秀賞(H19)の他、本年度、九州地方発明表彰((社)発明協会主催)において中小企業庁長官奨励賞を受賞した。シラス緑化基盤は、上記の優れた特性を有しており、都市型水害やヒートアイランド現象の軽減に役立つ環境資材として注目されている。



図1 鹿児島国道工事事務所



図2 市電の軌道敷緑化



図3 個人邸の屋上緑化